

その他

件名	概要	議決結果																										
平成22年度大木町健全化判断比率及び資金不足比率の報告	<p>健全化判断比率の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実質赤字比率</th> <th>連結実質赤字比率</th> <th>実質公債費比率</th> <th>将来負担比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大木町健全化判断比率</td> <td>— %</td> <td>— %</td> <td>8.0%</td> <td>4.0%</td> </tr> <tr> <td>早期健全化基準</td> <td>15.00%</td> <td>20.00%</td> <td>25.0%</td> <td>350.0%</td> </tr> <tr> <td>財政再生基準</td> <td>20.00%</td> <td>40.00%</td> <td>35.00%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※実質赤字比率および連結実質赤字比率は赤字額がないため比率は算定していない。 実質公債費比率は、前年度より1.7%低い。 将来負担比率も、前年度より5.1%低く改善している。 いずれの比率も国が定めた早期健全化基準を下回っている。</p> <p>資金不足比率の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>資金不足比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大木町水道事業資金不足比率</td> <td>— %</td> </tr> <tr> <td>経営健全化基準</td> <td>20.00%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※資金不足額は生じていないため比率は算出していない。</p>		実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	大木町健全化判断比率	— %	— %	8.0%	4.0%	早期健全化基準	15.00%	20.00%	25.0%	350.0%	財政再生基準	20.00%	40.00%	35.00%			資金不足比率	大木町水道事業資金不足比率	— %	経営健全化基準	20.00%	報告のみ
	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率																								
大木町健全化判断比率	— %	— %	8.0%	4.0%																								
早期健全化基準	15.00%	20.00%	25.0%	350.0%																								
財政再生基準	20.00%	40.00%	35.00%																									
	資金不足比率																											
大木町水道事業資金不足比率	— %																											
経営健全化基準	20.00%																											
株式会社大木町健康づくり公社経営状況報告	<ul style="list-style-type: none"> ●22年度の入館者数は、対前年比でマイナス(△6,370名、△4%)特に7~9月の猛暑や近隣の温泉施設の開業の影響もあり5,000名程度入館者が減少した。 ●がんばらん館の運営は、学校給食への納品では、対前年比で140%となり安心・安全な農産物の提供が出来た。 ●「くるるん液肥」を活用した平成21年度特別栽培米「環のめぐみ」玄米152トンについては、11月までに完売した。 ●4月に「道の駅おおき」が開業し農産物直売所及びレストランともに関連機関のおかげで順調に船出することが出来た。 	報告のみ																										
財団法人ひしのみ国際交流センター経営状況報告	<ul style="list-style-type: none"> ●会員や地域に対し図書や資料等を活用して海外の様々な情報を提供し、また町内在住の外国人のための相談窓口を開設し、主に町内で働く外国人研修生を対象にサービスを行った。 ●センター設立20年の節目に当たり、さるこいフェスタでの音楽イベント、こっぽーっと図書・情報センターギャラリーで20年の歩みや海外研修生の報告書展示を行った。 ●さまざまな国、地域の文化や習慣を学んだり外国人とのふれあいをしながら、「国際理解の推進」を目指し、さらに日本文化、地域文化も再認識してもらう機会づくりを目指した。 	報告のみ																										

平成23年度一般会計補正予算(第3号)

全員賛成で可決
 9328万2千円増 総額47億8292万円

補正の主なもの

※は国・県の補助金等による事業

- 庁舎等施設整備工事費 2267万2千円
防水層の劣化による庁舎屋上の防水改修工事費
- ※庁舎太陽光発電整備設置工事費 1200万円
10キロワットの太陽光発電を設置
- ※農村環境整備事業工事費 672万円
筏溝地区の舗装工事 延長520メートル
- 消防格納用地購入費 535万1千円
第2分団第1部(笹淵、十間橋、土呂呂地区)の消防格納庫の建築に伴う用地購入費
- ※農業用施設災害復旧費工事請負費 600万円
筏溝下地区の災害復旧工事 延長37メートル

平成23年度大木町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

全員賛成で可決
 35万7千円減 総額15億6309万1千円

●人事異動に伴い人件費を削減

平成23年度大木町水道事業会計補正予算(第2号)

全員賛成で可決
 資本的支出150万円増 総額1499万5千円

上木佐木中、蛭池北、上牟田口地区新規加入者排水管布設工事

Q&A

「一般会計とは?」
 国および地方公共団体で、一般の歳入と歳出に関する会計のこと。行政運営の基本的な経費を網羅した経済の活動状況の記録であり、最も基本的な経費の収支を扱う会計で、目的を限定せずに、一般行政を進めるための主要な経費をまかなうものである。

「特別会計(特会)とは?」
 通常の一般会計とは別建てで、国や地方公共団体(県や市町村)が行う特定の事業や特定の資金を運用・管理するために独立して経理を行うこと。
 大木町には、3つの「事業特別会計」があり、それぞれ「水道事業」・「国民健康保険」・「後期高齢者」の特別会計があります。

「補正予算とは?」
 年度途中に、国・県からの交付税の決定など新たな財政需要が発生した時に編成する予算。当初予算と補正予算を合わせた補正後の金額が、その年度の最終的な予算の姿となる。
 補正予算は、社会保障関連など義務的な経費の膨脹や、大規模災害の復旧費用など想定外の財政支出に対応する目的もあり、ほぼ毎年編成されている。